

ゆくはし市議会だより



【敬称略】左より 上部 小坪慎也

4列目 松尾一樹（議会事務局長）、川上真平、森山賢、大杉茂貴

3列目 園田良恵、小森隆義、小見祐治、國永圭

2列目 矢野潤一、西田憲司、瓦川由美、小原義和、井上倫太郎、小堤千寿

1列目 西岡淳輔、藤本廣美、二保茂則、徳永克子、田中建一、大池啓勝

3月定例会

令和6年度行橋市一般会計予算を修正可決

令和6年3月定例会において、総額315億3,959万4千円（前年度比14.1%増）の一般会計予算が提出されました。3月19日の本会議において議員より語学指導費など計867万5千円を減額する修正案が提出され、採決の結果、修正可決されました。

5月臨時会

新しい正副議長・委員会構成を決定

令和6年5月第1回行橋市議会臨時会が、5月20日に開催され、正副議長の選挙や常任委員会、議会運営委員会の委員の選任などを行いました。また、市長提出議案2件と議員提出議案1件を可決しました。

Index

正副委員長・委員会構成等…2～3 / 3月定例会の概要・委員長報告…4～7 / 人事案件…7 / 一般質問…8～14 / 議会日誌…15 / 3月定例会・5月臨時会の議決結果…15～16

9月定例会は



9月3日（火）より開会予定



令和6年5月第1回行橋市議会臨時会を、5月20日に1日の会期で行いました。
この臨時会は4月14日に執行された行橋市議会議員一般選挙後に開かれる最初の議会
で、正副議長の選挙や常任委員会、議会運営委員会の委員の選任、一部事務組合議会議員の
選挙などを行いました。

正副議長が決まりました



いのうえ りんたろう
議長 井上 倫太郎



ふじもと ひろみ
副議長 藤本 廣美

常任委員会委員が決まりました

総務委員会



委員長: 矢野 潤一



副委員長: 徳永 克子



委員長: 西田 憲司



副委員長: 森山 賢



委員長: 小堤 千寿



副委員長: 大杉 茂貴



二保 茂則



田中 建一



面岡 淳輔



瓦川 由美



藤本 廣美



大池 啓勝



小見 祐治



國永 圭



小森 隆義



園田 良恵



小原 義和



小坪 慎也



川上 真平

【所管事項】 市政の企画、財政、税金、
住民異動、国保、他全般的な事項

【所管事項】 教育、保健介護、福祉
などの事項

【所管事項】 道路、公園、市営住宅、
上下水道、農林水産、商工観光、企業
立地、ごみ・環境問題などの事項

議会運営委員会の構成が決定

議会運営委員会は、議会運営を円滑に行うため、地方自治法第109条、並びに「行橋市議会委員会条例」に基づいて設置されています。

委員については、各会派より選出されています。

委員会構成

【委員長】小原 義和 【副委員長】瓦川 由美

【委員】西田 憲司 小見 祐治 園田 良恵

所管事項

- 定例会及び臨時会の会期日程について
- 議会の運営について
- 議会の会議規則、委員会に関する
条例等について
- 議長の諮問について

行橋京都メディカルセンター組合議会が決定

(行橋市の定数5名)

藤本 廣美 ・ 小堤 千寿 ・ 矢野 潤一

園田 良恵 ・ 森山 賢

行橋市・みやこ町清掃施設組合議会議員が決定

(行橋市の定数7名)

二保 茂則 ・ 田中 建一 ・ 面岡 淳輔

小堤 千寿 ・ 西田 憲司 ・ 小森 隆義

園田 良恵

中間市行橋市競艇組合議会議員が決定

(行橋市の定数3名)

小堤 千寿 ・ 小見 祐治 ・ 川上 真平

京築地区水道企業団議会議員が決定

(行橋市の定数2名)

大池 啓勝 ・ 小坪 慎也

基地対策特別委員会を設置

近隣基地関係自治体（築上町、みやこ町）と、住民が安全で安心して暮らせる地域づくりのため連携を図り、築城基地に関する課題の解決に向けて協議し、運動を展開していくこととしており、今回、定数を5名から8名に増やし、基地対策特別委員会（委員8名）を設置しました。

【委員長】 小見 祐治

【副委員長】 面岡 淳輔

【委員】 二保 茂則 小原 義和

瓦川 由美 小堤 千寿

西田 憲司 森山 賢

市議会だより編集委員会の構成が決定

【委員長】 井上 倫太郎（議長）

【副委員長】 藤本 廣美（副議長）

【委員】 小原 義和（議会運営委員長）

小堤 千寿（建設経済委員長）

西田 憲司（文教厚生委員長）

矢野 潤一（総務委員長）

3月定例会の概要

開 会

2月27日

会期決定(2月27日～3月19日)、諸般の報告、市政に対する説明、議案の上程・提案理由の説明
委員会の調査報告(議会改革調査特別委員会)

委員会の調査報告
5～7ページへ

一 般 質 問 等

3月4日～6日

一般質問(12名)

一般質問の概要
8～14ページへ

議案に対する質疑、委員会付託

委 員 会

3月6日～18日

常任委員会(総務、文教厚生、建設)で所管ごとに執行部から詳しい説明を受けて審査し、各委員会での可否を決定

閉 会

3月19日

審査終了事案の上程・委員長報告(各常任委員長が委員会での審査結果を報告)
質疑・討論・採決(委員長報告への質疑及び反対・賛成討論の後、議会としての可否を決定)
新たな議案の上程・提案理由の説明・質疑・採決、決議・意見書の上程・質疑・討論・採決
議員提出に係る事案の上程・提案理由の説明・議案に対する質疑・討論・採決
議会閉会中の所管事項調査要求、会議録署名議員の指名

議案の審議結果
15～16ページへ

修正案の提出

令和6年3月定例会に提出された市長提出議案に関し、議員から2件の修正案が提出されました。

議案第4号

行橋市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の臨時特例を定める条例の制定について

物価高騰対策として、令和6年8月1日から令和8年7月31日までの間、ごみ処理手数料を減額する市長提案案(約15%減)に対して、建設経済委員会から修正案(約50%減)が提出されました。

建設経済委員会の提案理由は

建設経済委員会の報告
6ページへ

試験的にゴミ袋を減額するのであれば、市長の任期を越えて期間設定するべきではないこと、また、市長が本条例案を提案する理由が「家計への負担増を軽減すること」であるならば、よりゴミ袋の金額を減額した方が市民にも寄り添った施策であり、市長の趣旨に合致すると考えられること。

ごみ袋料金

	【現行】		【市長提出議案】		【委員会修正案】
・大袋1セット(10枚入)	630円	→	530円	→	330円
・中袋1セット(10枚入)	420円	→	350円	→	210円
・小袋1セット(10枚入)	210円	→	170円	→	90円
・資源袋1セット(10枚入)	210円	→	170円	→	90円
・粗大ごみ指定シール1枚	315円	→	260円	→	150円
・資源ごみ専用ひも1巻	730円	→	620円	→	400円

議会としてごみ袋の金額を
半額に値下げ(1年間)
令和6年8月1日より実施

審議の結果

建設経済委員会での採決 ⇒ 全員一致で**可決**、定例会本会議での採決 ⇒ 賛成多数で**可決**

令和6年度行橋市一般会計予算について

議員13名より修正案が提出されました。修正内容は、歳入では議案第4号を修正可決したことに伴い、ごみ処理手数料の減額。また、この減額に伴い同額を基金繰入金の、財政調整基金にて増額しております。次に、歳出では、3事業の計867万5千円を減額するものです。

提出者の提案理由、質疑では



減額する3事業について

1. 市政70周年・行橋市お土産づくりコンテスト事業（197万8千円）

既に特産品がある中で、アイデア、そして実際に作る、それぞれに賞金が付くこと。また、委員会審査の中では、当市で生産して安定供給ができる業者数の、具体的な数字も出ていない。特産品を作るのであれば、6次産業化も含めて、ふるさと納税にのせるなどの商品開発をしてみてください。さらに、この物販は、デパート等々で市職員が販売をする。それは行政のすることではない。

2. 都市公園ワークショップ事業（132万3千円）

都市公園の在り方等は、緑の立地適正化計画、及び緑の基本計画、この2つの上位計画に基づいて行っている。計画策定には市民1千人の方にアンケート、かつパブコメを実施している。しかし、今回は30名程度で2回ほど会合をもつ計画であり、これが今後、当市の公園にどれだけ寄与していくのか。上位計画がありながら一つの施策として取組む以上は、しっかりと考えていかなければいけない。

3. 中学校海外体験学習事業（537万4千円）

委員会審査の中で、来年度から同年度で受入れ、訪問（アメリカ合衆国のグレイス・チャーチ・スクール）を行う際の訪問者選考内容が決定していない。中身を詰めて予算を計上するべきである。今年度は従来とおり受け入れのみ実施し、まずは、基準の整備や懸念される訪問時の事故を防ぐためのサポートなど総括したマニュアルの作成に取り組んでいただきたい。

審議の結果

定例会本会議での採決 ⇒ 賛成多数で可決

常任委員会の報告

各常任委員会で議案の審査を行い、本会議時に各委員長から報告されました。内容の一部を抜粋してご紹介します。

※ ◎ ↓ 【委員長】 ○ ↓ 【副委員長】
委員会構成（令和6年3月19日時点）

総務委員会

- ◎ 矢野潤一 ○ 徳永克子 二茂茂則
- 小坪慎也 井上倫太郎 小見祐治
- 【審査案件】 9件
- 報告 1件 ● 条例 1件
- 公有水面埋立てに関する意見 1件
- 補正予算 3件 ● 当初予算 3件

議案第24号 令和6年度
行橋市一般会計当初予算

令和6年度予算総額は、歳入歳出、それぞれ315億3959万4千円で、前年度当初予算と比較すると38億9651万7千円の増額、率にして14.1%の増となっております。令和5年度当初予算が骨格予算であったため、実質の当初予算である6月補正予算と比較すると、7億1693万6千円の増額、率にして2.3%の増となっております。

当委員会所管部分における、主な新規事業及び新たな経費については、はじめに、総務費では、行橋市制70周年記念事業として、記念式典事業や記念協創事業、KBC「ふるさと Wish」業務委託料が計上されています。また、地域力創造アドバイザーによるアドバイザー業務に

係る経費のほか、電算基幹システム標準化業務、チャットツール活用事業に係る経費などが計上されています。そのほか、議会費では、委員会見える化整備事業や議場音響等改修整備事業に係る経費などが計上されています。

続いて、審査における質疑の主な内容及び意見等について、はじめに、財政課では、事業の予算化を検討するにあたっては、物価高騰対策の観点からも、広く市民に支援が行き届く政策ということを念頭に置き査定を行っていただきたい、また、公共施設の使用料については、近年の物価変動に合わせて見直しの検討を行っていただきたいとの意見が出されています。

次に、総務課・防災危機管理室では、災害対策について、大規模災害が発生した場合は職員のみですべて対応することは困難であると考えるため、自助の観点からも市民への啓発活動など自主防災意識を高める取り組みを行っていただきたいとの意見が出されています。

審査終了後、取りまとめの中で委員より、行橋市制70周年記念事業については、約4100万円もの予算が組まれており、そのうち、個展等芸術イベントに対して1500万円の予算が組まれている。物価高騰により市民の生活が厳しい状況にある中、イベント等に対して大きな予算を組むのではなく、行政本来の趣旨である福祉の向上を念頭に置いた予算編成を行っていただきたいとの意見が出されています。

採決の結果、議案第24号のうち、当委員会所管部分につきましては、委員、賛成多数で原案のとおり可決すべきであると決しました。

文教厚生委員会

◎西田憲司 ○田中次子 豊瀬尉

而岡淳輔 藤木巧一 瓦川由美

【審査案件】 16件

●報告 1件 ●条例 9件

●契約 1件 ●補正予算 2件

●当初予算 3件

議案第24号 令和6年度 行橋市一般会計当初予算

当委員会所管部分における予算総額は、16億5501万4千円となっております。これは、一般会計歳出予算総額の、およそ51%を占めております。所管部分の予算額を前年度と比較してみますと、10億1170万8千円の増額となっております。

主な事業は、物価高騰対応重点支援給付金支給事業や、障がい者支援に係る介護および訓練等にかかる給付金のほかICT支援業務委託料や学校施設の維持管理費などが計上されております。

審査の中で出された主な意見等について、教育総務課では、中学校国際交流事業について、委員より、事業の実績、要綱など説明資料の不足や来年度から同一年度で受入れ、訪問を行う際の訪問者選考内容が決定していないことから、中身を詰めて予算を計上するべきである、との意見が出されております。説明資料が不足していたことから、再度入室し、担当課より、令和5年度の選考状況、費用、研修実績及び要綱など事業総括について説明

を受けております。説明を受け委員より、実績を見ると各学校の申込者数、合格者数がアンバランスになっていることから、公平にすることを検討し、選考については中学校国際交流事業実施協議会があることから協議会で行ってどうか、との意見や、事業マニュアルについて、グレイス・チャーチ・スクールとの協定書締結も含め、基準の整備や、懸念される訪問時の事故を防ぐためのサポートについても総括し、作成いただきたい、との意見が出されております。

審査終了後、とりまとめの中で、雨の日でも子どもたちが遊べる場所づくりのため、室内で、ある程度限定した施設の広さの中にもそのような内容が欲しいかというニーズ調査について、候補地を限定すると、当該校区以外の子供及び保護者等の交通手段などが懸念される。アンケート調査については、場所、内容などについて対象者の方から広く意見を募っていただきたい、との意見が出されております。このほか、中学校国際交流事業について、来年度から同一年度で受入れ、訪問を行う予定としているが、例年どおり今回は訪問せず、まずは事業総括したマニュアル作成にしっかりと取り組んでいただきたい、との意見やマニュアルを早急に作成し、同一年度で受入れ、訪問を実施することで、児童の事業への参加機会を平等にしていきたい、との意見が出されております。

採決の結果、議案第24号のうち、当委員会所管部分につきましては、委員、賛成多数で、原案のとおり可決すべきであると決しました。

建設経済委員会

◎大池啓勝 ○小堤千寿 田中建一

鳥井田幸生 藤本廣美 澤田保夫

【審査案件】 12件

●条例 5件 ●補正予算 3件

●当初予算 4件

議案第4号 行橋市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の臨時特例を定める条例の制定

本案は、物価高騰対策として、令和6年8月1日から令和8年7月31日までの間、ごみ処理手数料を減額するものです。

審査の中で、まずはゴミの減量化を図り、その成果によって浮いた予算をゴミ袋の減額に充てるべきではないか、と質したところ、担当課より、減量化を先にする案を考えていたが、市長と協議した結果、本条例案を上程することになった、との答弁を受けております。

審査終了後、とりまとめの中で修正案が委員から提出されました。修正内容はゴミ袋の価格を市長提案よりも、さらに減額し、期間を令和8年7月31日から令和7年7月31日に短縮するものです。

提案理由についてですが、試験的にゴミ袋を減額するのであれば、市長の任期を越えて期間設定するべきではないこと、また、市長が本条例案を提案する理由が「家計への負担増を軽減すること」であるならば、よりゴミ袋の金額を減額した方が市民にも寄り添った施策であり、市長の趣旨に合致すると考えら

れること、以上の理由により、修正案が提出されております。

ごみ袋の金額を減額した場合の影響についてですが、原案では、改正前に比べ約1910万円の収入減を見込んでいます。修正案では、原案の見込みより、さらに3830万円の収入減を見込んでいます。管理費を除くごみ処分費用は約5億2千万円と見込まれているため、これらの収入減は、7%のごみ処分量の減量で補える計算になります。例えばSサイズの卵1個の重さは約50gですので、1キロのごみに対して卵2個分の減量で10%のゴミを減量することが可能です。そのため、各家庭が生ごみの水切りや資源ごみとの分別に気を付ければ7%以上の減量効果が十分期待できます。ごみ袋の大幅値下げで、収集業務に従事する職員への負担増が懸念されますが、ごみ減量化は、環境問題の中心であることから、市をあげて努めて頂くとともに、市民の皆様には、暫定的なごみ袋の値下げではありますが、ごみ排出量を減らすことで、さらなる家計への負担軽減とすることから、一層のごみ減量化にご協力をお願いするものです。

採決の結果、議案第4号につきましては修正案、及び修正可決した部分を除く原案を委員、全員一致で可決すべきであると決し、修正可決いたしました。

特別委員会の調査報告

特別委員会の活動について、本会議時に委員長から報告されました。

議会改革調査特別委員会

◎田中 建一 ○小堤 千寿
徳永 克子 而岡 淳輔 田中 次子
西田 憲司 矢野 潤一 小見 祐治

本委員会は、令和4年9月定例会において、「予算決算の審査方法 及び 議会改革に関すること」を調査事項として設置され、本日まで計20回、委員会を開催し、議論を重ねてまいりました。

当該調査事項のうち、「議会改革に関すること」につきましては、委員会の中で協議事項の集約を行い、主なものとして、「費用弁償」「政務活動費の使途基準等の見直し」「委員会の映像配信」「議員のハラスメント等に関する規定」の計4点について協議を行い、その結論は過去の各定例会において報告したとおりであります。

次に、本委員会の主な調査事項であります、「予算決算の審査方法」について、これまでの調査の経過と結果を報告いたします。現在、本市議会における予算・決算の審査方法は、1つの議案を各常任委員会へ分割付託し審査を行っています。このことにより、委員会として議案の修正案が提出できないことや継続審査要求ができないことなど、様々な弊害が生じているところであり、これらの問題を解消するため、また、議会のチェック機能

を最大限に發揮できるようにするために調査を行ってまいりました。

まず、予算決算の審査方法を協議するうえで、検討事項の洗い出しを行い、「予算決算委員会の種類」「審査の方法」「議案の振り分け」「委員会審査における質疑の取り扱い」の4項目を主な検討事項とすることについて確認を行いました。そのうち、協議を行いました「予算決算委員会の種類」及び「審査の方法」について、報告いたします。

はじめに、「予算決算委員会の種類」につきましては、常任委員会として設置するのか、または、特別委員会として設置するのかについて、それぞれのメリット、デメリットの調査研究を行い、協議を進めてまいりました。委員からは様々な意見が出される中、最終的に常任委員会として設置すべき、との結論に至りました。

次に、「審査の方法」についてであります。「審査の方法」につきましては、委員会の中で直接審査をするのか、または、分科会を設置するのかについて、それぞれのメリット、デメリットの調査研究や他自治体への聞き取り調査、また、視察調査を行うなど、様々な角度から検討を進めてまいりました。委員からは、「歳入は委員会でも審査を行い、歳出については分科会で説明を受けてはどうか。」との意見や、「歳入、歳出ともに委員会の中で直接審査すべきではないか。」など様々な意見が出されております。最終的には、設置することに關しては前向きだが、メリット・デメリットの洗い出しや、審査の方法など検討事項が多いため、今任期中に結論を出すことは時間的に厳しいとの判断のもと、当委員

会として、結論を出すには至りませんでした。

以上、本委員会における調査検討事項について、経過概要ならびに結論を報告いたしますが、それ以外に、協議を行ったものの、結論を得ることができなかった事案、あるいは時間の制約で議論ができなかった事案など、積み残した課題は数多くあります。議会改革はこれをもって終結するものではなく、議会に改革の意思がある限り、絶えず継承されていくものであります。今後も、行橋市議会のあるべき姿に向かって、鋭意努力してまいりますことをここにお願い申し上げます。

終わりにあたり、委員各位の活発な議論と活動、議員各位のご理解とご協力に對し厚くお礼を申し上げ、議会改革調査特別委員会の調査報告といたします。

資産報告の閲覧

令和6年資産報告書について、行橋市政治倫理条例に基づき、議員から提出されました。左記の場所で閲覧ができます。

● 議会事務局（市役所6階）

● 平日 8時30分～17時

※ 市長を含む三役の資産報告書は、市総務課総務係（市役所4階）で閲覧ができます。

人事案件

令和6年3月19日、令和6年第21回行橋市議会3月定例会において議決を行い同意しました。



人権擁護委員候補者の推薦

福重 糸み子（ふくしげえみこ）

黒田 純一（くろだじゆんいち）

（定数10名）

委員任期が令和6年6月30日をもって満了することから、2名推薦され、同意されました。

人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしています。市町村長が人権擁護委員にふさわしい地域の候補者を選び、議会の意見を聞いた上で法務局（地方法務局）へ推薦します。



令和6年3月定例会 一般質問

一般質問は、行政全般にわたって事務の執行の状況及び将来に対する方針などについて質問することです。3月定例会では、12名の議員が市政全般について質問し、市長などから回答を得ました。

内容の一部を抜粋し、質問と答弁の要旨を掲載します。

各議員記事の二次元バーコード（QRコード）から一般質問の動画をご覧になれます。

動画で観よう！

豊瀬 尉 議員 →9P



- ①これからの行橋市の政策の方向性

田中 次子 議員 →9P



- ①市民活動との協働
- ②介護予防事業
- ③子どもが育つまちづくり

井上 倫太郎 議員 →10P



- ①二元代表制のもとでの市長（執行部）と議員（議会）の役割とは
- ②工藤市長の公約と市政運営
- ③ごみ処理手数料
- ④開発行為に伴う公園等の設置基準の緩和

鳥井田 幸生 議員 →10P



- ①環境行政
- ②行橋市図書館問題

小見 祐治 議員 →11P



- ①行政運営

田中 建一 議員 →11P



- ①教育行政

大池 啓勝 議員 →12P



- ①安全安心なまちづくり（政治姿勢）

徳永 克子 議員 →12P



- ①行政運営
- ②すべての人の尊厳を守るために
- ③学校教育
- ④保健行政
- ⑤築城基地問題

小坪 慎也 議員 →13P



- ①海浜をテーマとした誘客施設などの建設的な政策
- ②耐震を迎える校区公民館に関する施策
- ③元永山笠の復興
- ④農業被害に関する害獣駆除
- ⑤人口増および乱開発の抑止としての口径別納付金および施設分担金の運用
- ⑥子育て政策としての第二子目以降の保育料無償化

西岡 淳輔 議員 →13P



- ①教育行政
- ②福祉行政
- ③市民の交通手段ならびに国道496号線
- ④政策から施策への検証

小堤 千寿 議員 →14P



- ①子育て・教育支援
- ②行政運営

矢野 潤一 議員 →14P



- ①通学路交通安全プログラム
- ②災害防災対策

※一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

本会議の映像を録画配信しています。

YouTube（ユーチューブ）の行橋市議会のチャンネルへアクセスしていただくと、定例会ごとの再生リストより、一般質問の映像をご覧になれます。

行橋市議会 YouTube チャンネル





とよせ やすし 豊瀬 尉 議員

議員 私は、昭和59年4月に初当選以来、9期34年の議員生活を送らせて頂き、この間支えて頂いた皆さん方に心から感謝を申し上げ、最後の一般質問をさせて頂きます。当時は、第3代堀市長時代で行橋市が赤字再建団体から脱却して行橋南小学校が建設され、昭和54年6月30日の長峡川氾濫による特別激甚災害の復興事業と、昭和56年のローム福岡誘致、昭和57年の行橋市庁舎新築、昭和58年の行橋北小学校の建設の時代でした。その後、私も議員として市政の一翼を担い、昭和60年のし尿処理場の建設、水道の第4次拡張事業、昭和62年「行橋市総合体育館、弓道場、武道場、研修センター」の建設を行い、社会教育施設として11校区公民館の建設を逐次行いました。私も政策関与させて頂いた、下崎のみやこの苑を移転させた福祉の里構想の実現でした。その後、第4代柏木市長時代では、平成2年のコスメイト行橋オープン、堀市政から引き継いだ行橋駅高架化事業と行橋駅西口の区画整理事業、公共下水道事業、行橋総合福祉センターのウィズ行橋の建設、平成10年の東九州自動車道の施行命令が出され、私と同僚議員と、京都医師会の先生方で協力して平成10年に365日型の休日夜間急患センターの開設、その後、平成25年に国から全額の補助金をもらって今の急患センターに作り変えました。その後、

これからの行橋市の政策の方向性



動画で観よう！



第5代八並市政では平成17年に可燃ごみの中継リレー施設、平成18年に東大橋西宮市線が国道496号線と連結、平成19年に椿市農業集落排水の供用が開始されました。そして、第6代田中市政では平成27年に行橋駅前道路拡張工事の認可があり、平成28年シーサイドマラソン実施、平成29年行橋ビエンナーレ事業開始、令和2年に図書館等複合施設リブリオ行橋がオープンしました。また、市内の17小中学校の冷暖房完備トイレの様式化改修、Wi-Fi環境整備と生徒全員へのiPad貸与などの教育環境整備が行われました。そこで、工藤市政はどのような市制を目指していますか。

市長 私は、あらゆる世代の皆様方から、住みたい、住み続けたいと思っただけでいいようにまことにしていく。そして次世代に大きな負担を残さないようなまちづくりを進めていくことが基本的な方針でございます。今様々なハード事業のお話もございましたが、公共施設、公共インフラが老朽化してきております。こういったものを廃止するのか、統合するのか、あるいは更新していくのかと、こういったところを考えていかなければいけない。次世代に大きなつけを残さないまちづくりを進めていかなければいけないと思っております。



たなか つぎこ 田中 次子 議員

市民活動との協働

議員 これまで長年、補助金や助成金を受けて活動を続けてきた多くの市内団体の共通の課題は、組織内の会員の高齢化・固定化ではないか。一方、若い世代や子育て世代は、例えば学校PTAに対する関わり方、活動に対する捉え方も大きく変わってきている。そのような中、市制70周年事業の基本方針には「未来につながる新たなまちづくりの始まり」と掲げているが、そもそも、「市民活動の情報」が得られる」「交流や相談ができる」「市民が自由に使うことのできる会議スペースがある」などの拠点づくりが同時に必要だと考える。

若い人たちが新しい団体を巻き込みながら、協働を発展させていくための「拠点づくり」に対して、市長の考えを問う。

市長 まさにこの70周年協創という年に、実際にボランティア活動、NPO活動をされている方々と考えていくような機会を、まずつくっていききたいと思う。

子どもが育つまちづくり

議員 子育て支援センターはウィズ行橋内にあり、また、未就園児と保護者を対象にした

市民活動との協働

子どもが育つまちづくり



動画で観よう！



「子育てサロン」は、市内保育園や認定こども園でも開かれているが、地域に偏りがあるのではないかと。

福祉部長 議員指摘の通り、仲津中学校区と今元中学校区には、現在は無い。市内の未就学児を持つ子育て世代が地域で等しく利用することができるよう、子育て支援センターの設置について、各校区に漏れがないようなかたちで事業を進めていきたいと考えている。

議員 福祉部と教育委員会が連携して、学校施設の空き教室などの活用を検討していただきたい。また、本市は大変豊かな自然環境に恵まれているにもかかわらず、自然活動体験の機会が少ないと感じている。放課後等の遊び場づくりについての見解を問う。

市長 外と室内の遊びの場、両方が必要だと思っただけでいい。新年度に向けて改めて練り直した外の公園づくりのワークショップと、室内の遊び場の調査費も（今回の議案に）あげている。子どもたちが伸び伸びと思う存分遊べるような環境の必要性は十分に感じているので、こういった事業に取組んでまいりたい。



いのうえりんたろう
井上倫太郎議員

議員 中学校国際交流事業について

工藤市長の親族が参加されたとしても、市内在住の中学生であれば権利があり、問題もないと私は認識しています。ただ、工藤市長自らが、申請に係る書類を直接、担当部署に渡したという事実があったのか、なかったか、お答えいただけたらと思います。

市長 自身の娘がグレイス・チャーチ・スクールに応募はしております。妻も働いている、悩みに悩んだ挙句、私が実際に提出をさせていただいた。

議員 市長が、当落のある、選考審査のある事業の書類を直接職員に手渡しをされたという点でありますが、指示命令系統の頂点に立つ大きな力を有する市長が直接職員さんへ手渡しするという行為が、職員さんによっては大きなプレッシャーを感じるおそれがあると思います。今回の行動について、政治家として政治倫理上、何も問題もないと考えていますか？

市長 政治倫理上は問題ありません。

議員 市長の退職金について

工藤市長のブログを拝見しました。例えば報酬がなくなっても政治家を辞めるつもりはありません、というふうに書かれておりました。

工藤市長の公約と市政運営



動画で観よう！



市長の報酬月額が85万5千円です。期末手当は年間約290万円。あわせて市長には退職手当の支給が可能とされておりまして、工藤市長は自身の退職金額を知っておりますか？

市長 退職金自体の金額は、申し訳ありません、いま存じ上げておりません。

議員 1期4年間で約2千万円の退職金が支払われるわけでありまして。総務部長に問わせていただきたいと思えます。見直しについて指示等を受けたことはありますか、お答えください。

総務部長 見直しについての指示はございません。

議員 もし私が市長ならば、退職金は必ず見直しますし、できることなら、廃止します。工藤市長は市民感覚や客観性を大切にされています。就任から2年が経過する現在におきまして、自身の退職金について金額さえ分らない。工藤市長にお伝えしたいのは、客観性、市民感覚とのずれを他者のみに向けるのではなく、まずは自分自身に向けていただきたい。



とりいださちお
鳥井田幸生議員

議員 維持管理費の問題について、今年度も3パーセント増の物価見直しがあり、3050万円の増額です。当時から比べて1億7千万円増えています。インフレ状態の現在であれば、毎年増額してることが容易に想像できると思います。今後の推移と現在、どのようになっておりますか、お伺いします。

市長 いま現在考えられるのは、まだまだ物価が上がっていくと考えております。物価スライド上昇分は金額に反映される契約になっておりますので、対応せざるを得ない。しかし、コロナ禍でなかなか通常運転ができなかった。ようやく通常運転ができるようになる中で総合的に状況を見極めていきます。

議員 以前の図書館が9千万円以下で運営できていました。確かに、今度は3階建であるし、そしてその中の閲覧場所にしろ、かなり充実をしています。だからその分は加味できても、余りにも高額です。決算書の中には、総経費に占める人権費等々も載っていません。ものすごく大雑把な書き方をされていきますけど、以前文化振興公社に依頼してみたときの内訳書、全部目を通しました。現在1億8千万円ぐらいかかっていますけど、それまでかからなくても、いま現在の図書館

行橋市図書館問題



動画で観よう！



十分運営できると。私は私なりに数字から判断しています。後11年間残っています。ここで例えば5千万円の削減になったと、それから5億円から6億円残るわけですね。そうしたら市長が言われるように、本当に必要ならそこにお金を分配できるわけです。そして契約を見直したときに、私は契約破棄もあってもいいんじゃないかと。1回そういう大胆な発想で、取組む気はございませんか。

市長 金額が高いと、そういった御意見があることは分かっております。しかし、いま私自身がどうこうと、いきなり言うことではありませんので、しっかりと総合的に考えていたしながら、改めて決算書など、目を通さざるを模索したいと思えます。



こみ ゆうじ 議員
小見 祐治

議員 市役所西棟や消防庁舎の建て替え問題、小中学校校舎の老朽化について市の考えをお尋ねする。

総務部長 西棟については、行橋市新庁舎整備庁内検討委員会を設置して消防庁舎の移転計画と併せて検討を行っている。

消防長 消防庁舎は、消防・救急車両などの設備、消防職員の増員など消防力の強化に伴って、機能やキャパシティが十分とは言えない状態。現在の立地の自然災害への脆弱性や女性消防吏員の採用に向けた施設の導入など多数の問題を抱えており、建て替えや2エリアへの分散配置などについて検討している。

教育部長 現状、学校の統廃合は考えていないが、地域によっては児童が減っている学校もある。校舎の耐震性は問題なく、すべての学校校舎を存続前提で長寿命化計画を作成している。同時に子育て環境、教育環境の充実、子育て世代にとって関心が高い分野。小中一貫教育、小中一貫校の導入などについても検討している。

議員 西棟や消防庁舎の老朽化は単に建物の問題ではない。災害時などは市民の命を守る大事な設備だ。学校も同様。問題を先送りせずに、計画を示しながらスピード感を持って

行政運営



動画で観よう！



対応をお願いしたい。

議員 北九州空港滑走路延伸に伴い、物流や空港機能の大幅強化が見込まれている。これは行橋市にとっても、大きなチャンスであると考えますが、どのように生かしていくのか。

総務部長 企業誘致や雇用拡大、特産品の販路拡大など、大きなチャンスであると捉えている。特に物流事業の更なる促進に向け準備している。

産業振興部長 物流や販路拡大を計画する中小企業の支援にも力を入れていく。観光・インバウンドによる地域振興、商業活性化にもつなげていきたい。一方、企業誘致には渇水対策など解決すべき課題もある。

議員 滑走路延伸完了まで後3年しかない。行橋市としても、プロジェクトチームを作るなど、このチャンスをものにできるように積極的に取り組んでもらいたい。



たなか けんいち 議員
田中 建一

議員 2点にわたり質問をします。今回の議案について、教育委員会からしからぬ提案をされているのではないかと。1点目は、中学校の海外体験学習事業について、公費も充てて事業を推進している、根拠となる法令は。

教育部長 海外体験学習にかかる経費は、行橋市子ども教育基金取扱い要綱に基づき、執行している。

議員 公費について以前は、渡航費用など5万円を限度として助成していたが、今回は、25万円を本人に負担をしていただいて、それを超える金額を公費から負担している。内容は。

教育部長 子ども教育基金の要綱の第3条に、助成金の額、生徒1名あたりの海外体験学習に要する費用から保護者負担金を減じた額とし、予算の範囲内で交付する規定がございます。

議員 事業効果表には、この海外国際交流事業は、効果表の中に全然ない。取扱要綱は、令和5年7月12日に告示をされて、第20号として現在あります。要綱改正が後付でされている。教育長、イエスカノーか。

教育部長 事務手続きの関係上、遅れた。
議員 教育長、らしからぬ。後付けでそのようにされた、そうしか読み取れない。

教育行政



動画で観よう！



事業自体を、もう今後は取りやめる時期にきているのでは。

教育長 次年度以降も継続してまいりたい。

議員 2点目、条件付返還免除型奨学金条例の廃止議案について、返還免除型奨学金の目的が全て問題は解決したのか。

教育長 目的は、1つ目が修学上の経済的負担の軽減、令和2年度、JASSOの給付型奨学金制度が、給付額が現在増額され、学費等の不足額は解消されていると考えている。

議員 私は令和4年12月の議会の時に根本的に見直す必要の時期に来ていると質問し、奨学金制度は5年間既に経過をした。大いに期待して、見てきたが、見直した結果が廃止ですから、期待には大いに外れた。1月の委員会の中で事前説明をした際の説明書を見ましたら、実は驚愕をしました。この奨学金が差額の補填のためにつくった奨学金、返還免除型奨学金制度をつくったわけでも何でもありません。4月以降、募集をかけております。
教育長 来年度の募集はかけております。



おおいけ ひろまさ
大池 啓勝 議員

議員 市長の政治姿勢について、市長宅の境界ブロック塀に上積みした建築物は建築基準

法違反であると建築士から報告を受けました。また、市長宅のブロック塀は7段積みと なっていますが6段積み(高さ1200ミリ) 以上はブロック塀等の診断カルテを出すよう になっています。さらに市長宅北側道路奥に 区民が使用する羽根木公民館がありますが、 この公民館への道路際に違法状態のブロック 構築物があります。これらの点について市長 としてどのようにお考えか。

市長 私の家族に関わることでありますが、 ご指摘いただいたことについては調べたい。

議員 公契約・入札制度について、現在の入 札制度、公契約の現状、入札額の低価格等に より労働条件が非常に悪化していると思っ ています。入札制度の改善はどのようになって いるのか。

市長 いま現在ずっと検討している状況で す。メリット、デメリットの課題等を含め慎 重に検討している。

議員 2年間待ったにしては説明不足じゃな いか。メリットはいい、現行の入札制度のど こがデメリットなのか。

市長 まだまだ内部で検討が必要だ。しかる

安全安心なまちづくり (政治姿勢)



動画で観よう!



べき時に言わせていただきたい。

議員 予算編成方針と情報提供について、以 前市長は時には大胆に新しい事業を打って いく必要があると答弁しつつも、事業計画・予 算編成について何も情報を出さない。いきな り大型事業を出されても、はいそうですか、 と議会は言えるわけがない。議会が反対して いるから自分の事業が阻害されていると言っ ているがとんでもない話だ。学校の適正規模 化と老朽校舎対策、公共交通、公共施設の再 編など重要課題が山積みだが、情報を出 し課題解決策を見出そうとしていない。令和 6年度は過去最大規模の予算だが、何か後世 に残るものがあるのか。税金をただ消費して いるとしか思えない。

市長 ハード事業はとうの昔から問題になる ことは明らかだったが、直ぐに変わるもので はない。非常に長い時間を要する。(具体的 な答弁はなし。)



とくなが かつこ
徳永 克子 議員

行政運営

議員 公人と私人の違いについて、国際交流事業 において、お連れ合いさんが仕事をし、娘さんが 熱を出したから、市長自ら担当である教育委員会 に申請書を持って行ったと言われました。この申 込み期間は15日間あり、お連れ合いさんが仕事を されているのは最初から分かっていた事。特に市 役所職員にとっては、一番のトップである市長と して、公人は常に公人としての行動をすべきと思 う。市長のお考えをお聞かせください。

市長 種々の理由でぎりぎりになってしまった。 公人でありかつ個人の親です。総合的に考え、間 違ったことはしていないと思っっている。

議員 政治倫理条例第一条に、公職にある者が私 的な利害関係によって公職の遂行を妨げられるこ とがあつてはならない、と書いてあります。市長 は残念ながら公職の遂行を妨げたと、個人を上 に置いたとしか考えられません。その事をぜひ認識 して行動をしていただきたい。

議員 市政70周年の行事等について、これは、70 年の歴史を振り返り、今後の行橋の発展と市民の 幸せを願うものとして考えるものです。事業を行 うことも意義がありますが、お祭り気分、半年、 1年を過ごすようなことはやるべきではない。一 定の限定した事業にすべきだと思うが、市長のお 考えをお聞かせください。

行政運営

すべての人の尊厳を守るために



動画で観よう!



市長 まず、お祭り自体はいいことだと思っ ています。浮かれた気分じゃないですよ。70周年とい う冠を付けることによって、より多くの皆さん方 に認識してもらおう意図もあるんです。

議員 本当に必要な事業なら、きちんとやればい いんです。4千万円のお金があるなら、もっと 市民に対してやるべきこといっぱいあります。 **すべての人の尊厳を守るために**

議員 ニュースに、子どもに対する殺害、交通事 故、いじめ、学ぶ場の不十分さ、意見表明の場の 欠落、劣悪な気候環境、保護者の経済事情による 不十分な栄養状態や進学への断念、ヤングケアラー など、子どもの尊厳を認めない事象が多くありま す。社会全体で子どもへの権利を認める場を提供す ることが必要。そのために、まず子どもの権利条 例を作成することを求めます。いかがか。

市長 子どもの権利を守る取組を進めてまいりた いと考えておりますが、他の自治体の事例も参考 に検討を行っております。条例制定は、その取組 の中の一つとして、いま現在検討させているとこ ろでございます。

議員 どのような手順で作成をしていくのか、お 答えください。

市長 条例ではなくて大綱、それからことも計画 と、考えさせていただいております。



こつぽ しんや
小坪 慎也 議員

子育て政策としての 第二子目以降の 保育料無償化



動画で観よう！



議員 私は無償化という言葉はあまり好きではありません。全額税負担と同義であり、納税義務が跳ね上がるからです。何でも無償化にしていいとは思いませんが考えて頂きたい。保育料かなり高い。2人目、3人目となれば、倍々で上がっていくわけです。3歳以降が無償化されたとはいえ、2子目以降の無償化というのは強いインパクトを与えます。福岡市と北九州市が第2子目以降の保育料無償化に踏み切っており、京築の中核都市行橋市の動きは大きな意味がある。まずお幾らくらいかかりますか。

福祉部長 市の負担といたしましては、直近3年間の保育料の平均値より試算を行ったところ、約6600万円の増額が見込まれます。
議員 300億円の当初予算で考えれば、約0.2パーセント。6600という数字は、財政的には厳しめのハードルとも理解しています。ただ、北九州市も恒久財源が組みないまま、福岡市がやったということで、自治体ブランドとしてもたないということでしょう、即応で実施に至っています。かなりバタバタでやったようです。ちょうど当初予算の季節です。やってもいいんじゃないかなという気がするんですね。北九州がそこまでアクセルを踏み込んだというのは、私にとって

は結構衝撃でした。高いとみるのか安いとみるか、捻出できるのかどうか、財政運営の観点から市長の答弁を求めます。

市長 小坪議員がおっしゃってくださったように、決して安い金額ではないと思っております。持続的に必要になってくるものですので、当然慎重に考えざるを得ないところです。他自治体の先進事例もありますが、実際に本当にどういった根拠でといったものは、いまいち我々も理解しておりません。この分野に関しましては、しっかりと研究・検討は進めていかなければいけないのではないかなと思っております。今の時点ですぐにやれるかと言ったら、今はまだこれはちょっと検討の必要があると、そのように考えているのが本当のところですよ。

議員 忌憚ない御意見ありがとうございます。私は、これは党の話もごさいますけれども、子ども家庭庁を設置されましたので、ぜひとも立法側としても要望はやっていきたいと考えております。



にしおか じゅんすけ
西岡 淳輔 議員

教育行政

福祉行政

市民の交通手段ならびに 国道496号線



動画で観よう！



教育行政

議員 2020年4月リブリオがオープン。読書通帳機を設置し読書通帳5千部作製。配布数は。
教育部長 入館者80万人超。読書通帳は中学生までの希望者に無料配布。配布状況は総計1298冊。

議員 残りが約3700部、今後の取組は。

教育部長 読書通帳が読書の記録で、その方の勲章だ。読書は冊数の多さだけではなく、じっくりと本の内容に触れることで心の成長に役立つ。今後も継続。

議員 令和2年6月、就学前健診7項目のうち本市実施は内科と歯科。学校保健安全法に照らし、なぜ2項目だけなのかと指摘。その後、実施項目増加。視力検診用スポットビジョンスクリーナーも導入。導入後の反響等、進捗と計画は。

教育部長 スポットビジョンスクリーナーは目の疾病・弱視等の早期発見が目的。令和4年度に教育委員会と子ども支援課が購入。検査が簡単に結果もすぐに配付。保護者からも好評。来年度以降も維持し未実施項目も検討（耳鼻咽喉科や皮膚科など）。

福祉部長 今まで3歳児視力検査は難しかったが、保護者の方から大変好評だ。

福祉行政

議員 带状疱疹ワクチン補助について、全国と福岡

岡県内の自治体数を伺う。

福祉部長 令和6年2月時点で全国349自治体、県内5自治体が実施。

議員 前回から1年を待たずに350近い自治体が補助。前回、早い段階での結論と答弁。結果と検討を伺う。

福祉部長 助成で接種増加が見込まれ、結果として健康保持及び医療費削減も期待されるが結論には至っていない。

市民の交通手段ならびに 国道496号線

議員 循環型等コミュニケーションバス。進む高齢化を見据え路線経路変更や増便、新たなコース等々の計画を伺う。

都市整備部長 市内路線の利用率は低く1日10人程度。1便に1人を切る路線、利用がない便も目立つ。今年度当初予算に70歳以上で公共交通に特化したプレミアム商品券実証実験事業を計画。市内のバス、タクシーで利用できる5千円分の商品券を3千円で販売予定。将来の公共交通サービス形態を検討する。
議員 国道496号線の歩道。新年度を迎えるが県に予算要求されたか。

教育部長 次年度に向け、要望協議を進めたい。

福祉部長 児童生徒や高齢者、障がい者等が安心安全の歩道整備は福祉の視点からも必要だ。

教育長 やはり早期改善が必要。しつこく県への要望、共有を進めたい。



こづつみ ゆきとし
小堤 千寿 議員

子育て・教育支援

議員 インフルエンザ予防接種費用助成事業について、妊婦と生後6カ月から18歳の子どもへのインフルエンザ予防接種の助成を令和2年度から令和4年度まで実施していたが、今年度は助成を行わなかった。議会として、昨年12月定例会で、子ども・妊婦の任意インフルエンザ予防接種助成事業の継続を求める決議を可決。接種費用の助成を行わないのは市長の考えであるが、子育て支援としては必要な施策と考える。助成を行わないにしても、行橋市で感染者数や接種率のデータ等、根拠に検討する必要があると考えるが、市としての考えを問う。

市長 助成を行わないのは、最終的には私の決断。

福祉部長 助成事業を実施しないため、予防接種の接種者数及び接種率の把握はできていない。

議員 感染率は、把握しておくべき事柄。比較対象として実施を行わなかった年と、行った年は、市側は把握をするべき。医師会ともやり取りを通じ、市として把握をする努力、今後助成をする努力をすべき。

議員 出産・子育て応援交付金事業について、行橋市では5万円の現金支給だが変わらない

子育て・教育支援 行政運営



動画で観よう！



か？

福祉部長 当面は現金で行っていききたい。

議員 おむつとお尻ふきを3年間無償支給する補助など拡充をすべき。大手のユニ・チャームさんとタイアップをする等、おむつの提供、協賛ないし価格的な相談を行ない、自治体の独自政策として、アイデアを出して取組むべき。

行政運営

議員 個人情報や条例違反等さまざまな行政管理について、2月29日付で職員採用試験における行政情報の取り扱いに関する調査特別委員会による最終報告書に対する改善報告が提出。再三にわたって書面で謝罪をされているが、お詫びしますというの、書面上だけか。

市長 記録が取れておらず、条例違反が続いていたことは申し訳なく思っている。

議員 今回条例違反をしている状況については、ご自身の処罰等は考えてないのか。

市長 処罰は考えていない。

議員 毎回、個人情報が流出、条例違反をするような行政運営は、愚鈍の極み。自分に甘く、職員には厳しくするのはやめるべき。組織としてミスがあったのなら、自ら襟を正し責任を取るべき。



やの じゅんいち
矢野 潤一 議員

通学路交通安全プログラム

議員 通学路交通安全プログラムについて、令和元年度からの危険箇所対策件数、および未実施件数について伺う。

教育部長 令和元年度は、危険箇所12件中11件が対策済み、1件未実施、令和2年度は、危険箇所13件で全件対策済み、令和3年度は、危険箇所24件中22件対策済み、2件未実施、令和4年度は、危険箇所12件全件対策済み、令和5年度は、現在実施中で、危険箇所18件中8件対策済み、10件未実施。令和4年度までの未実施箇所3件は事業完了までに時間を要することや、地権者と調整中などが主な理由で、全ての箇所に対策事業着手や協議は継続する。

議員 歩道のない通学路について、危険と思われる箇所を選定、又は何らかの対策を考えていると思うが、現在の取組状況について伺う。

教育部長 国道・県道・市道の幹線道路は整備がされているが、その他の道路では整備が進んでなく、車道幅に応じて歩行者の通行を目的として設けられた路側帯を歩道として使用している状況で、路側帯ヘグリーンベルトなど安全対策に取組んでいる。

議員 交通安全プログラム進捗管理表で進捗が明確になる様に見える化し、アプリマップなど

通学路交通安全プログラム 災害防災対策



動画で観よう！



を利用し対応箇所が一目で分かる様に掲載し、誰でもすぐに見る事ができ、気づきも多くなることで再発防止にもつながると考えるが、その考えを伺う。

教育部長 交通安全プログラムで対応した箇所は、その年度限りの対応とはせずに、以前の対応箇所についても進捗管理を行い、より効果的な対応に努め、今回提案頂いた、地図情報に対応箇所を落とし込む公表方法ができないか前向きに考える。

災害防災対策

議員 他市などで導入を始めたLINE通報システムは危険な場所などについて、市民が速やかに情報提供でき、確認する事ができると思うが、通報システムの導入検討について伺う。

市長公室長 LINE内で、道路や公園遊具などの損傷について通報をいたたく事ができれば、更なる市民サービスの向上に寄与することは確かな事で、このデジタル媒体による市民向けの双方方向のコミュニケーションツールは、必ず近い将来、本市にとっても必要になってくると感じていますので、近郊都市の実績等を冷静に注視し、検討したい。

議会日誌

- 2月27日(火)～3月19日(火) 行橋市議会定例会
- 2月27日(火) 基地対策特別委員会
- 2月28日(水) 平成筑豊鉄道経営会議・取締役会(福智町)
- 3月5日(火) 代表者会議
- 3月25日(月) 平成筑豊鉄道経営会議・取締役会(福智町)
- 3月26日(火) 30メートル級先端屈折式はしご自動車配備式
- 3月28日(木) 行橋商工会議所通常議員総会懇親会
- 3月31日(日) 美夜古さくらフェスタ2024
- 4月14日(日) 第19回行橋市議会議員一般選挙
- 4月17日(水) 福岡県市議会議長会(中間市)
- 4月22日(月) 行橋市文化協会総会
- 4月23日(火) 行橋市議会議員総会
- 5月13日(月) 政治倫理研修会
- 5月14日(火) 代表者会議
- 5月20日(月) 行橋市議会臨時会
- 5月23日(木) 航空自衛隊築城基地協賛会役員会(築上町)
- 5月30日(木) 行橋京都地区防犯協会総会
- 5月31日(金) 京築北九州東部振興会議総会
- 6月5日(水) 行橋市防災会議
- 6月7日(金) 議会運営委員会
- 6月7日(金) 市議会だより編集委員会
- 6月9日(日) 行橋市議会旗争奪ソフトボール大会
- 6月11日(火)～6月28日(金) 行橋市議会定例会
- 6月13日(木) 福岡県市町村職員年金者連盟行橋京都支部総会
- 6月15日(土) る～ぶるフェスタ



4/22 行橋市文化協会総会



5/23 航空自衛隊築城基地協賛会役員会

議案の審議結果一覧 令和6年3月第21回定例会 2月27日～3月19日

出席議員全員一致で可決等された議案

賛否が分かれた議案については、16ページをご覧ください。

件名	提案者	結果	
報告第1号 令和5年度行橋市一般会計補正予算の専決処分の報告	市長	承認	
議案第1号 行橋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		可決	
議案第2号 行橋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定		可決	
議案第3号 行橋市空き地の適正管理に関する条例の制定		可決	
議案第5号 行橋市文化財保護審議会条例の制定		可決	
議案第6号 行橋市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第8号 行橋市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例並びに行橋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第9号 行橋市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第10号 行橋市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第11号 行橋市水道布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第12号 行橋市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第13号 行橋市手数料条例の一部を改正する条例の制定		可決	
議案第14号 行橋市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例を廃止する条例の制定		可決	
議案第20号 令和5年度地方卸売市場行橋市魚市場特別会計補正予算		可決	
議案第22号 令和5年度行橋市農業集落排水事業特別会計補正予算		可決	
議案第26号 令和6年度地方卸売市場行橋市魚市場特別会計予算		可決	
議案第27号 令和6年度行橋市・荊田町・みやこ町介護認定特別会計予算		可決	
議案第33号 行橋市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定		議員	可決

